

## <地域包括ケアシステムとは>

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、生活環境や心身の状態の変化に伴う、このような様々なニーズに対して、

5つの視点で

医療・介護・介護予防・生活支援サービス・住まい

サービスが包括的に

利用者のニーズに応じたサービスの適切な組み合わせ

継続的に提供され

入院、通院、在宅復帰を通じて切れ目なく

できるだけ生活の場を変えることなく、自ら選択した場所で、必要なサービスを受けて生活をするのできる仕組みが**地域包括ケアシステム**です。

<地域包括ケアシステムを実現するには>

自助、互助、共助、公助が  
上手く組み合わせられていく  
ことが、有効です。

- 自助：主体的な生活を送り、自らの健康を維持すること
- 互助：近隣の助け合い、ボランティア等による支え合い
- 共助：介護保険、医療保険等
- 公助：社会福祉サービス等

「高齢者が住み慣れた地域で いきいきと暮らし続けるために」  
～地域包括ケアシステムの実現に向けて～<資料抜粋>

地域包括ケアシステムのイメージ

